

女性の社会進出に関するアンケート結果

1.調査目的

町では男女共同参画社会の実現をめざして、様々な施策に取り組んでいます。このアンケートは「女性の雇用促進」「子育て支援」「ワークライフバランスの確保」など、今後の女性の社会進出を後押しする町の施策策定の基礎資料といたします。

2.調査設計

- (1) 調査地域 阿見町全域
- (2) 調査対象者 20歳以上 50歳未満で町内在住の女性の方、1,000人
- (3) 抽出方法 住民基本台帳より対象者無作為抽出
- (4) 調査方法 郵送配布—郵送回収法
- (5) 調査期間 平成27年6月1日(月)～平成27年6月30日(金)

3.回収結果

- (1) 標本数 1,000票
- (2) 回答者数 317票
- (3) 回収率 31.7%

4.調査項目

項目	内容
基本属性	年齢、配偶者等の有無、家族構成
仕事をしている方	勤務日数、勤務時間、通勤方法、帰宅時間、始業終業時間、就労理由、雇用形態など
仕事をしていない方	今後の就労意向、希望雇用形態、希望収入、希望就労条件、就職活動、就労経験、離職理由、非就労理由など
子供がいる方	現在の子供の数、希望する子供の数、子育ての苦勞、子育てのサポートをしてくれる人、必要とするサポートなど
子供がいない方	子供を持つことに対する意識、希望する子供の数、子供を持つことへの不安や障害、必要だと思うサポートなど
仕事と子育てに関する要望	生活の優先順位への意識（理想と現実）、望む生き方、仕事と子育てに関するご意見・ご希望・ご提案など

女性の社会進出に関するアンケート結果

目次

女性の社会進出に関するアンケート	4
○あなた自身についてお聞きします	4
○仕事をしている方にお聞きします	6
(1)一日の平均勤務時間と週の勤務日数について	6
(2)通勤時間	7
(3)通勤方法	7
(4)平均的な帰宅時間	8
(5)あなたの現在の勤務時間は？	9
(6)あなたが働いている理由は？（複数回答可）	10
(7)あなたの現在の雇用形態は？	12
(8)あなたの希望する雇用形態は？	12
(9)仕事をしていてよかったと思うことは？（複数回答可）	13
(11)女性が仕事をするために必要だと思うサポートはなんですか？	14
○仕事をしていない方にお聞きします	15
(12)あなたは今後働くことを考えていますか？	15
(13)あなたが希望する働き方は？	15
(14)あなたの希望する収入額は？	16
(15)あなたの望む職場の条件は何ですか？（複数回答可）	17
(17)どんな条件が整ったら働くことが可能ですか？	18
(18)あなたは以前働いていた経験がありますか？	19
(19)仕事を辞めた理由は何ですか？（複数回答可）	19
(20)あなたが就業するためにどのようなサポートが必要ですか？	20
(21)あなたが今働いていない理由はなんですか？	20
○子供がいる方にお聞きします	21
(22)現在のあなたの子どもの数は何人ですか？	21
(23)あなたの希望する子どもの数は何人ですか？	21
(24)希望する人数の子どもを持たない理由	22
(25)あなたが感じる子育ての苦労や大変な点は？	22
(26)今のあなたの子育てに必要な不可欠なものは何ですか？	22
(27)あなたの子育てのサポートをしてくれる方は誰ですか？（複数回答可）	23
(28)あなたがありがたいと感じる子育てのサポートは何ですか？（複数回答可）	24
(29)あなたが必要な子育てサポートは何ですか？	24

○子どもがいない方にお聞きします.....	25
(30)あなたは子供をもつことについてどう思いますか？.....	25
(31)あなたの希望する子どもの数は？.....	25
(32)あなたが今後子供を産み育てる場合、不安や障害となるものはありますか？.....	26
(34)あなたが子育てをする場合、希望する考えを教えてください。.....	28
(35)問 30 で子どもをもつことについて「2」「3」を選んだ方.....	28
○全員にお聞きします.....	29
(36)あなたの希望する生活の中の優先順位をお伺いします.....	29
(37)現実にあなたの優先している現状をお伺いします.....	30
(38)問 36 と問 37 で希望と現実に差がある場合の要因は何ですか？.....	31
(39)あなたが望む生き方の障害になっていることは？.....	31
(40)仕事と子育てに関するご意見・ご希望・ご提案について.....	31
参考資料.....	32
参考資料 1. アンケート内容.....	32
参考資料 2. アンケート集計協力者.....	37

女性の社会進出に関するアンケート

○あなた自身についてお聞きします

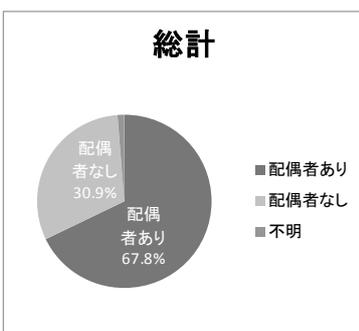
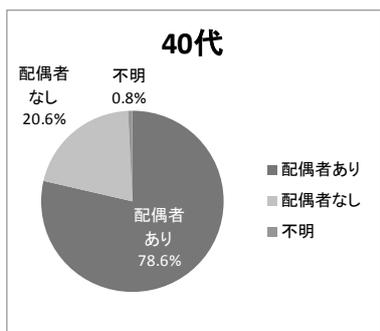
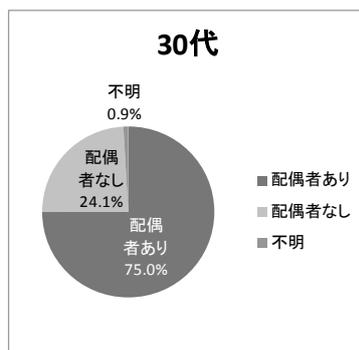
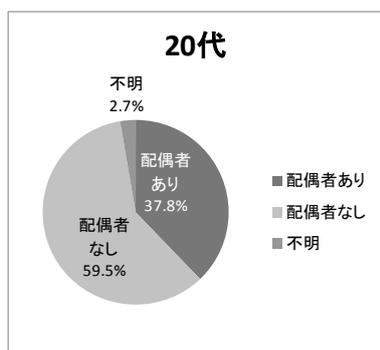
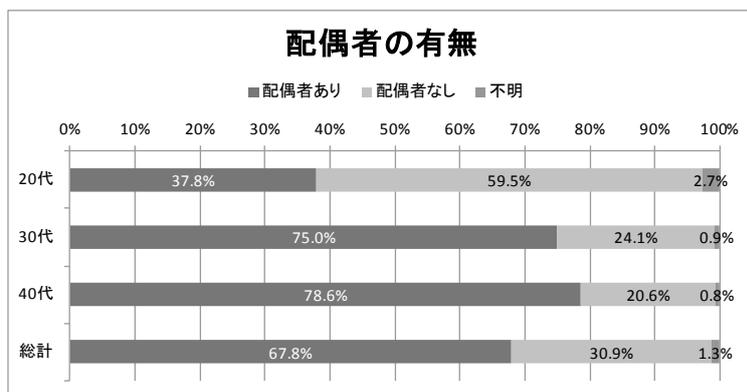
A あなたのお歳は？

(人)

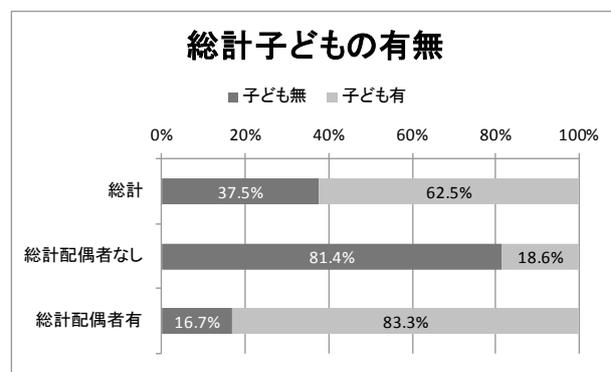
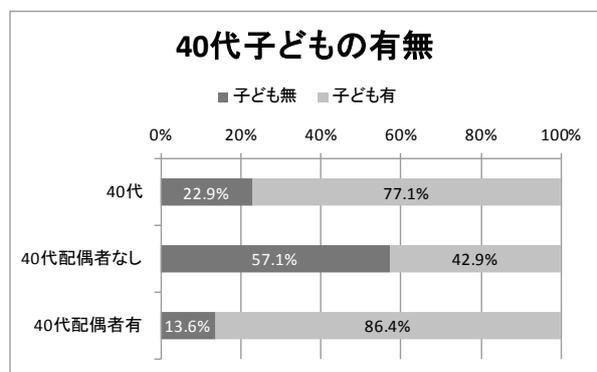
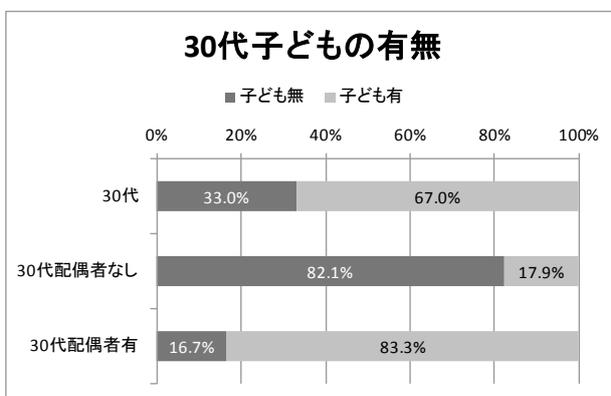
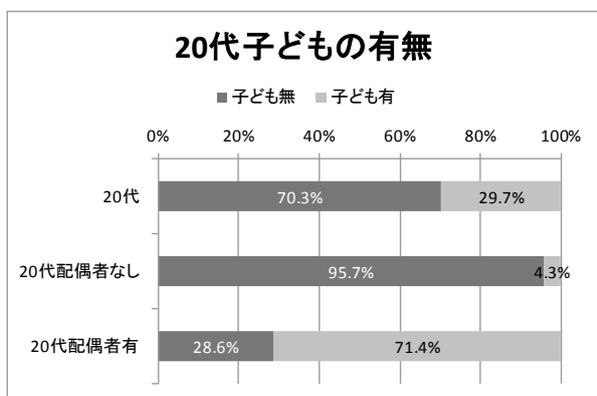
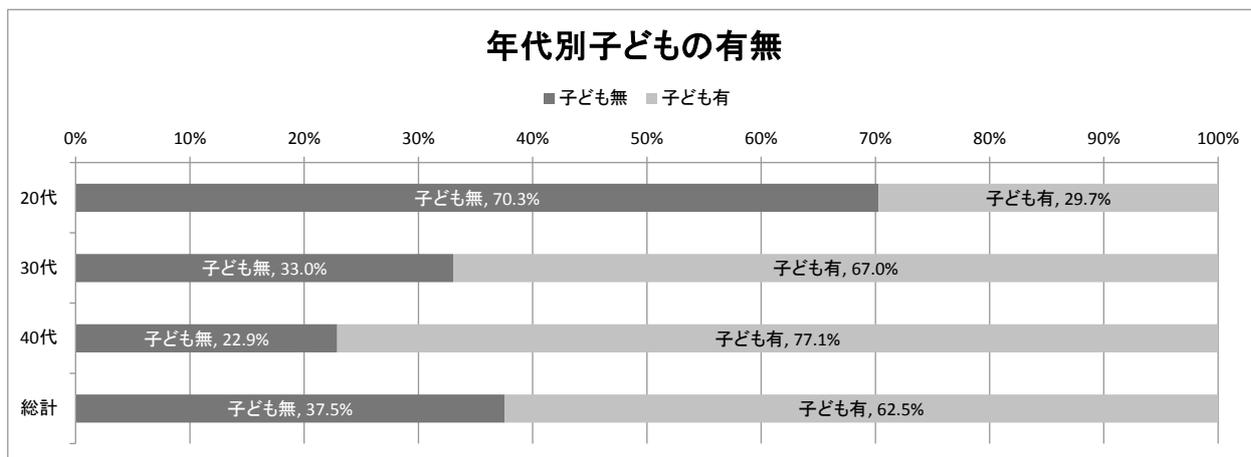
	配偶者あり	配偶者なし	不明
20代	28	44	2
30代	84	27	1
40代	103	27	1
総計	215	98	4

	配偶者あり	配偶者なし	不明
20代	37.8%	59.5%	2.7%
30代	75.0%	24.1%	0.9%
40代	78.6%	20.6%	0.8%
総計	67.8%	30.9%	1.3%

B 配偶者の有無



C 家族構成で子どもの有無の内訳



配偶者（パートナー）なしで子ども有の割合が年代とともに増えて4割以上いることに驚いた。シングルマザーが思っていた以上に多いことから、福祉施策の充実を推進する必要があると感じた。晩婚化と少子化が進んでいる。

シングルマザーの子どもたちの家庭環境や母親のストレス、教育格差など新しい問題に対するサポート体制が必要になってくるのではないかと。

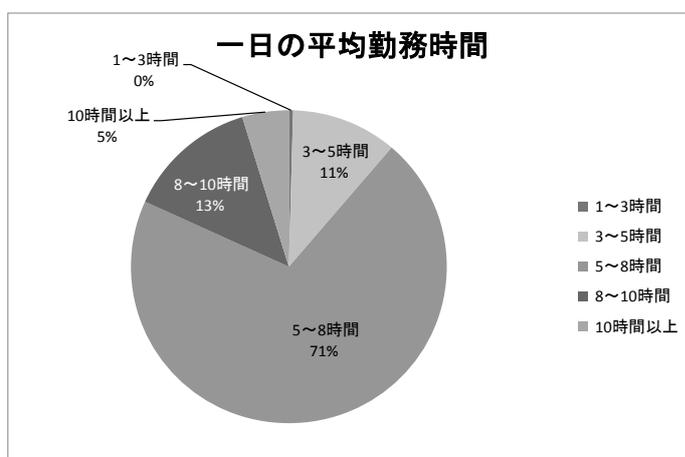
○仕事をしている方にお聞きします

(正社員・自営業・契約社員・パート・アルバイト・産休中・育休中の方)

(1)一日の平均勤務時間と週の勤務日数について

(人)

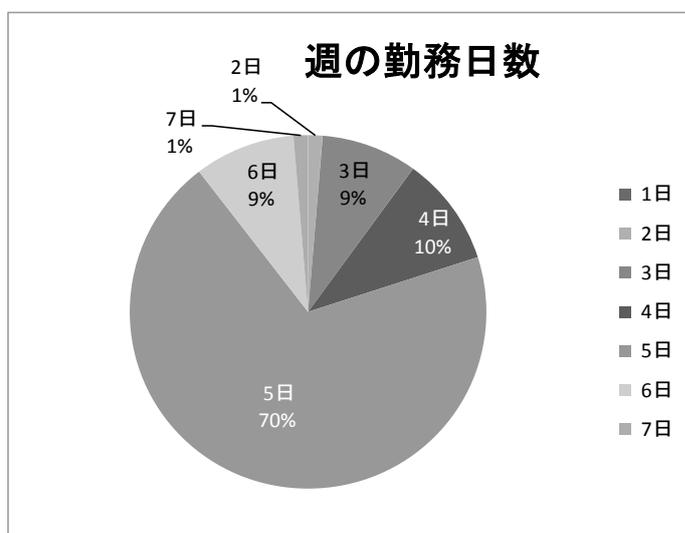
	1～3時間	3～5時間	5～8時間	8～10時間	10時間以上	合計
20代		3	41	9		53
30代		7	52	11	5	75
40代	1	15	70	11	6	103
総計	1	25	163	31	11	231



週の勤務日数

(人)

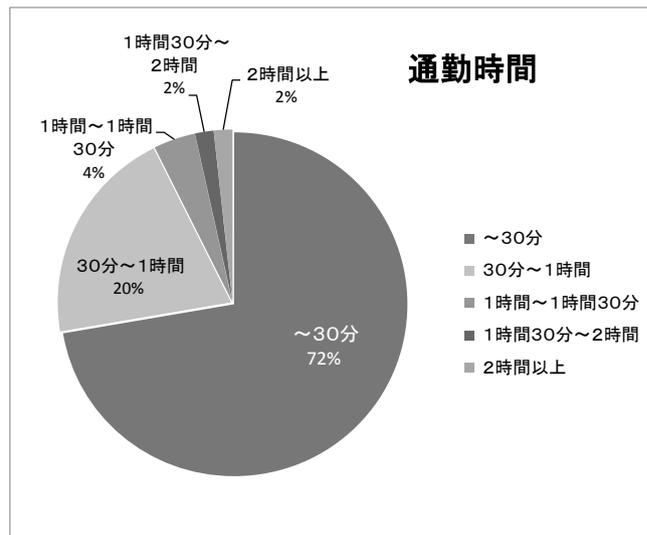
	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日
20代		3	3	3	39	6	1
30代			6	7	52	8	
40代			11	13	69	7	2
総計		3	20	23	160	21	3



(2)通勤時間

(人)

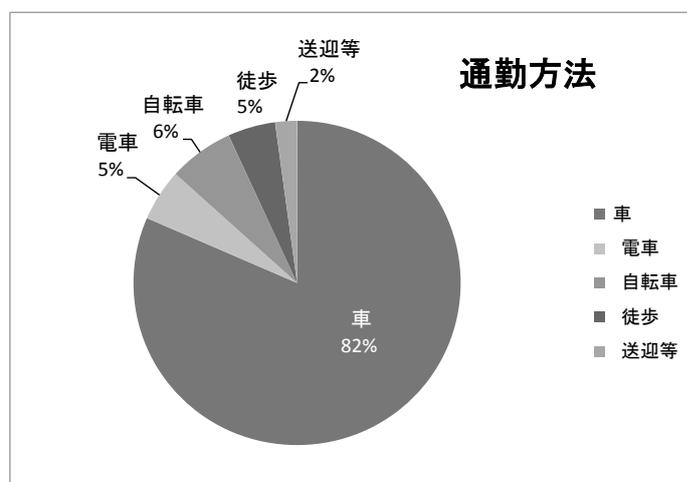
	～30分	30分～1時間	1時間～1時間30分	1時間30分～2時間	2時間以上
20代	29	20	3		1
30代	59	9	2	4	2
40代	79	18	4		1
総計	167	47	9	4	4



(3)通勤方法

(人)

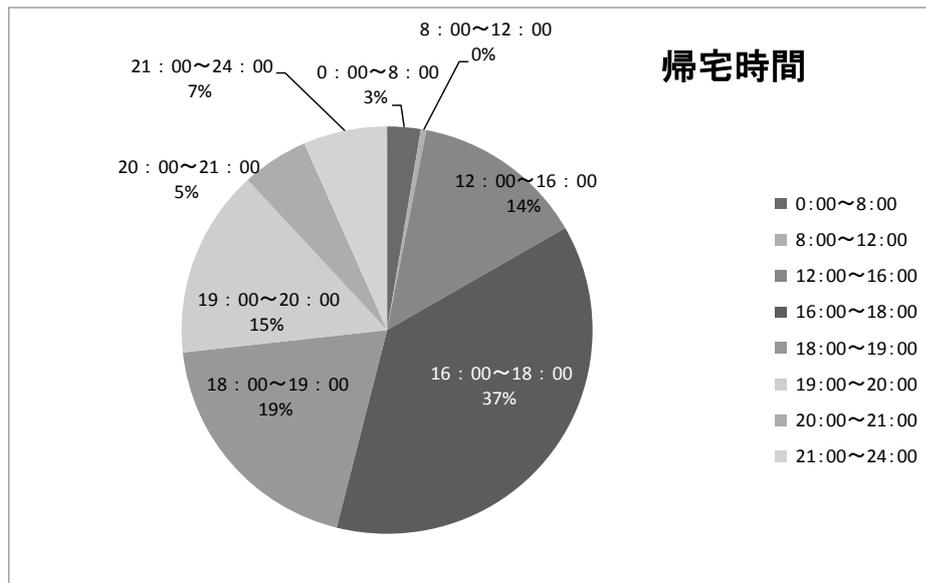
	車	電車	自転車	徒歩	送迎等
20代	38	6	8	3	2
30代	64	5	1	2	1
40代	88	1	6	6	2
総計	190	12	15	11	5



(4)平均的な帰宅時間

(人)

	0:00～ 8:00	8:00～ 12:00	12:00～ 16:00	16:00～ 18:00	18:00～ 19:00	19:00～ 20:00	20:00～ 21:00	21:00～ 24:00
20代	1	1		18	13	12	4	6
30代			12	29	12	8	5	5
40代	5		19	38	19	14	3	4
総計	6	1	31	85	44	34	12	15



結婚、出産、子育てが女性の就労に大きな影響を与えている。男性の働き方が変わらない限り、女性の家事・育児の負担は大きいと言える。

雇用形態は年代とともに正社員の比率が低くなり、30代を過ぎるとパート・アルバイトが多くなる（いわゆるM字型曲線）。これは結婚や子育てを機に退職をし、子供が保育園や学校に行く頃から家計のゆとりを考え、働きだす母親が多いということ。

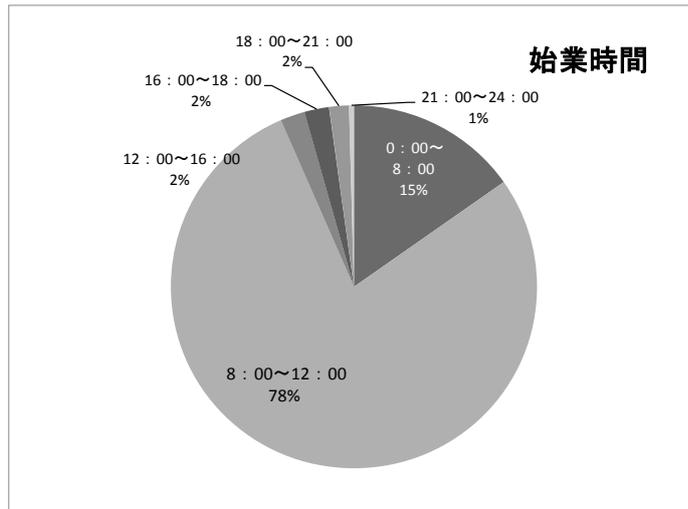
仕事は週5日勤務の方が多いが、住居の近くで通勤時間は短く、正社員ではなくパートやアルバイトとして働く人が多い。

(5)あなたの現在の勤務時間は？

始業時間

(人)

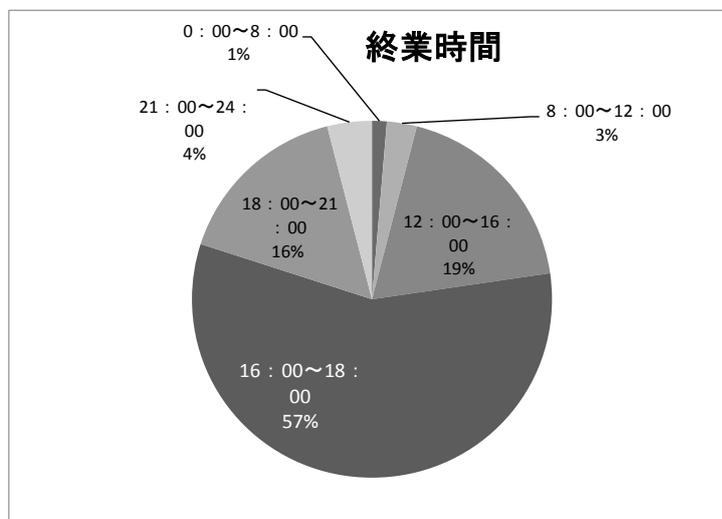
	0:00～ 8:00	8:00～ 12:00	12:00～ 16:00	16:00～ 18:00	18:00～ 21:00	21:00～ 24:00
20代	11	36	2	4	1	1
30代	11	58				
40代	13	86	3	1	3	
総計	35	180	5	5	4	1



終業時間

(人)

	0:00～ 8:00	8:00～ 12:00	12:00～ 16:00	16:00～ 18:00	18:00～ 21:00	21:00～ 24:00
20代	2	2	3	28	12	5
30代		1	13	42	10	2
40代	1	3	26	59	14	2
総計	3	6	42	129	36	9

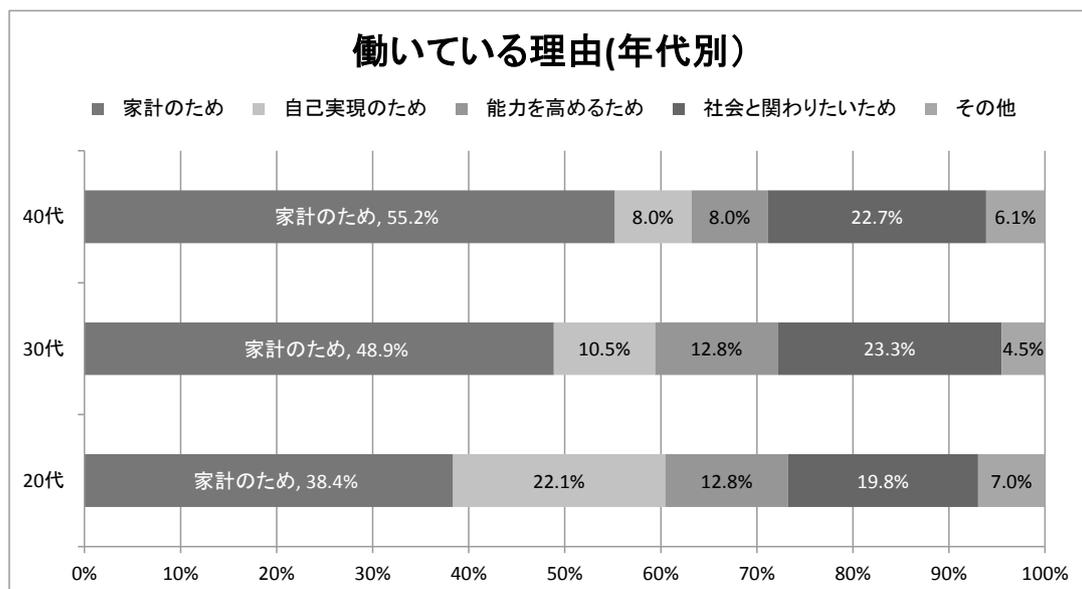
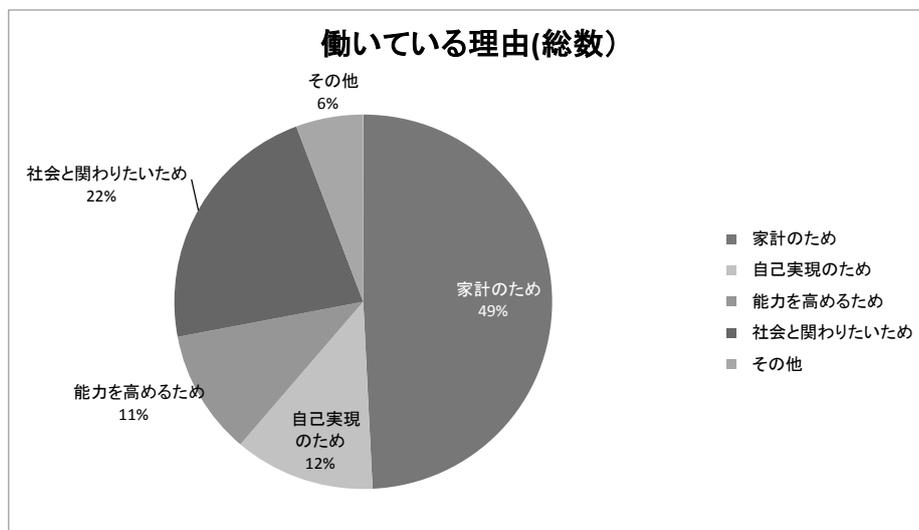


(6)あなたが働いている理由は？（複数回答可）

(人)

	家計のため	自己実現のため	能力を高めるため	社会と関わりたい ため	その他
20代	33	19	11	17	6
30代	65	14	17	31	6
40代	90	13	13	37	10
総計	188	46	41	85	22

	家計のため	自己実現のため	能力を高めるため	社会と関わりたい ため	その他
20代	38.4%	22.1%	12.8%	19.8%	7.0%
30代	48.9%	10.5%	12.8%	23.3%	4.5%
40代	55.2%	8.0%	8.0%	22.7%	6.1%
総計	49.2%	12.0%	10.7%	22.3%	5.8%



働いている理由(その他)

- ・次の仕事が見つからないため
- ・配偶者が生活費を入れないため
- ・子供の教育費(習い事)のため
- ・夫に万が一のことがあった時のため
- ・自営業に嫁いでしまったため
- ・生きるため

働いている理由として最も多いのが「家計のため」というのは、必要に迫られているということが理解できる。また年代を追うごとにその割合も増え、子供の教育費等、家計の中で女性の収入が大きな役割を占めていることが読み取れる。

「社会と関わりたいため」という理由も各年代とも多く、女性も社会の一員としての実感を欲しているのだと思う。

働き方の傾向として、勤務時間は5時間～8時間、週5日勤務、通勤時間30分以内、車で通勤、18時までに帰宅の人が多い。

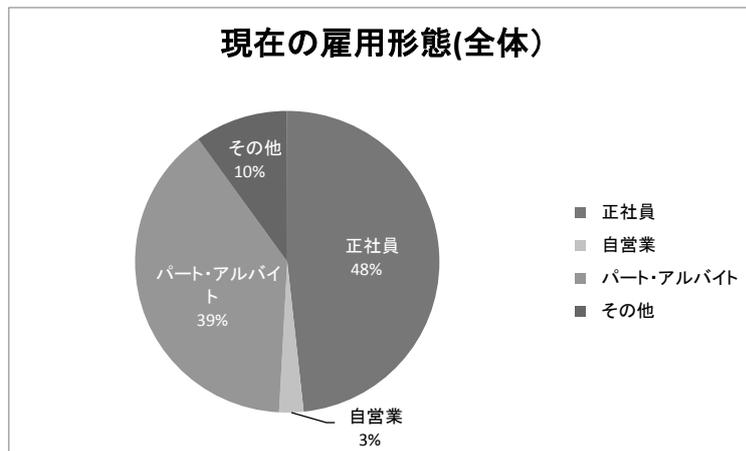
一方で18時以降まで勤務している人も多く、夜間に労働している女性が増えていることもうかがえる。

家庭や子供を中心とした働き方で、帰宅時間を考えると職場が自宅から近いことが、就労条件の大事な要素となっていることが考えられる。町内で母親が働ける場所がもっと増えるような施策を考える必要性を感じた。

(7)あなたの現在の雇用形態は？

(人)

	正社員	自営業	パート・アルバイト	その他
20代	32	1	15	4
30代	42	2	22	10
40代	38	3	54	9
総計	112	6	91	23



現在雇用形態(その他)

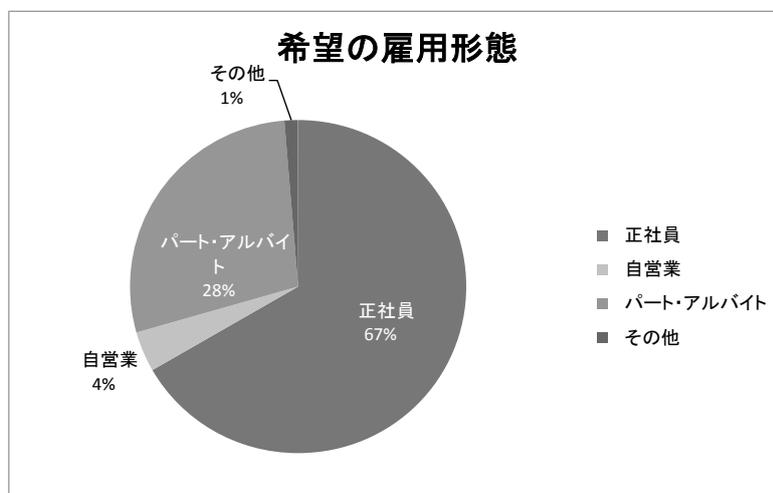
- ・派遣社員
- ・臨時職員
- ・期間契約社員

(8)あなたの希望する雇用形態は？

(人)

	正社員	自営業	パート・アルバイト	その他
20代	40	1	10	1
30代	55	3	17	1
40代	59	5	38	1
総計	154	9	65	3

(その他：契約社員を希望)

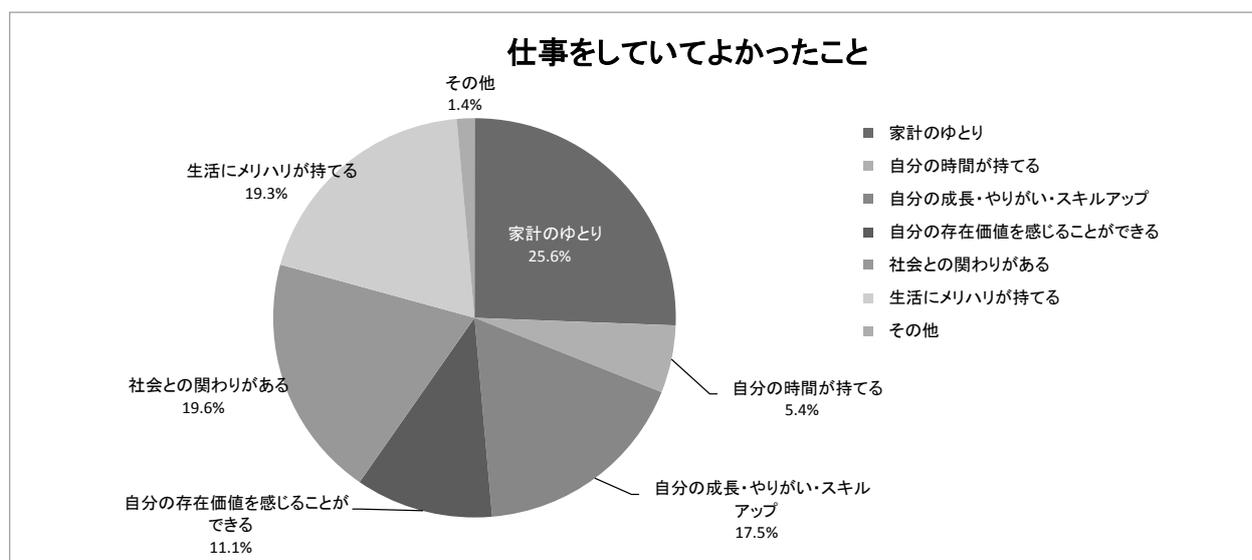


(9)仕事をしていてよかったと思うことは？（複数回答可）

(人)

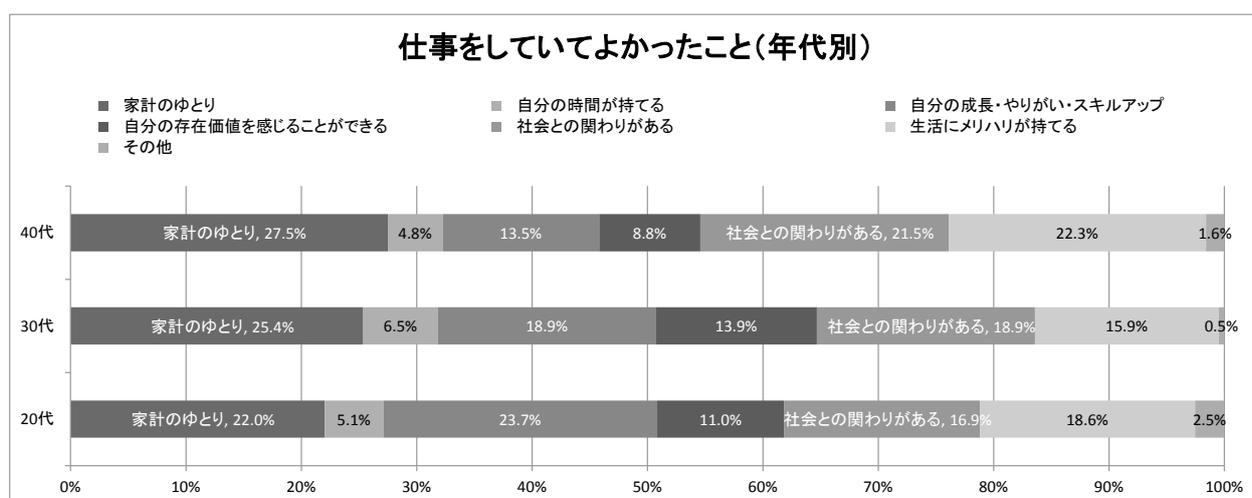
	家計のゆとり	自分の時間が持てる	自分の成長・やりがい・スキルアップ	自分の存在価値を感じることができる	社会との関わりがある	生活にメリハリが持てる	その他
20代	26	6	28	13	20	22	3
30代	51	13	38	28	38	32	1
40代	69	12	34	22	54	56	4
総計	146	31	100	63	112	110	8

	家計のゆとり	自分の時間が持てる	自分の成長・やりがい・スキルアップ	自分の存在価値を感じることができる	社会との関わりがある	生活にメリハリが持てる	その他
20代	22.0%	5.1%	23.7%	11.0%	16.9%	18.6%	2.5%
30代	25.4%	6.5%	18.9%	13.9%	18.9%	15.9%	0.5%
40代	27.5%	4.8%	13.5%	8.8%	21.5%	22.3%	1.6%
総計	25.6%	5.4%	17.5%	11.1%	19.6%	19.3%	1.4%



その他

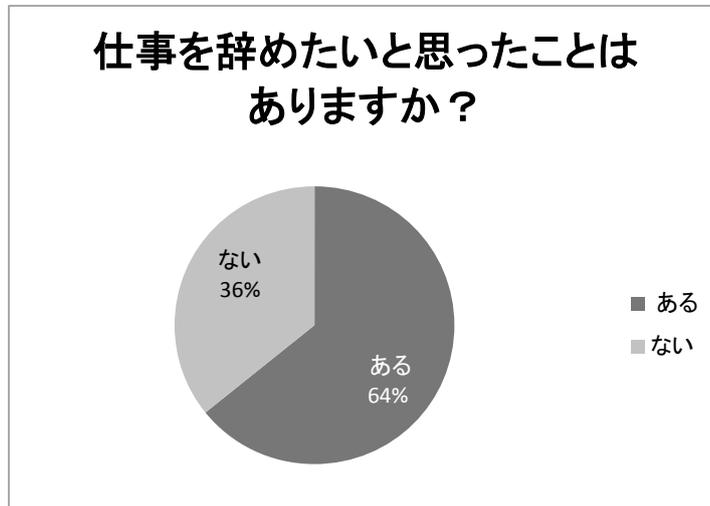
- ・楽しい
- ・自由になるお金が持てる



(10)仕事を辞めたいと思ったことはありますか？

(人)

	ある	ない
20代	30	22
30代	51	24
40代	66	36
総計	147	82



(理由)

- ・子どもとの時間が持てない
- ・仕事と家庭の両立が大変
- ・人間関係が不満
- ・体力的にきつい
- ・給料が安い

(11)女性が仕事をするために必要だと思うサポートはなんですか？

- ・パートナー(家族)の協力
- ・休日の取りやすさ
- ・出産、子育てに関するサポート
- ・児童クラブ、保育所等
- ・病児保育
- ・女性のキャリアアップを支援する仕組み
- ・障害児を預かってくれるサービスの充実

家計のために働き始めたが、実際に働くことで自分の存在価値や社会との関わりを感じることができていることが読み取れる。雇用形態は、現在パート・アルバイトであっても、正社員を希望する人が多いことが分かった。

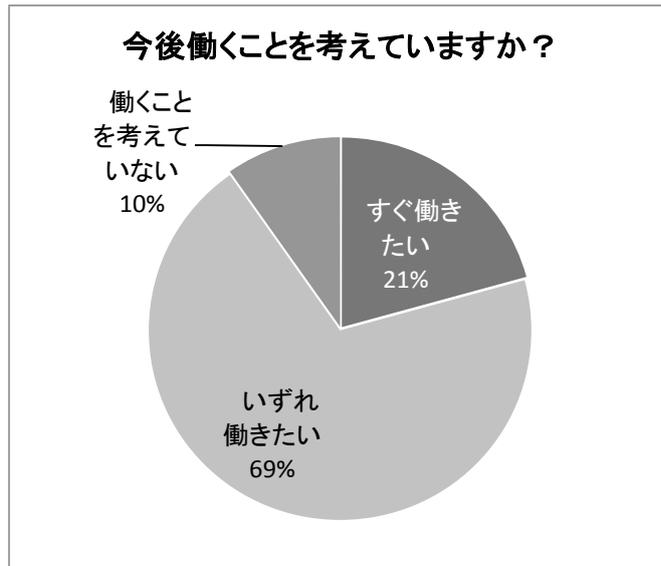
核家族化が進む中、女性が仕事をするためには家族や社会の理解・協力が必要であり、さらに子育てをしながら働ける環境整備も、町の施策として推進するべきだと考えられる。

○仕事をしていない方にお聞きします

(12)あなたは今後働くことを考えていますか？

(人)

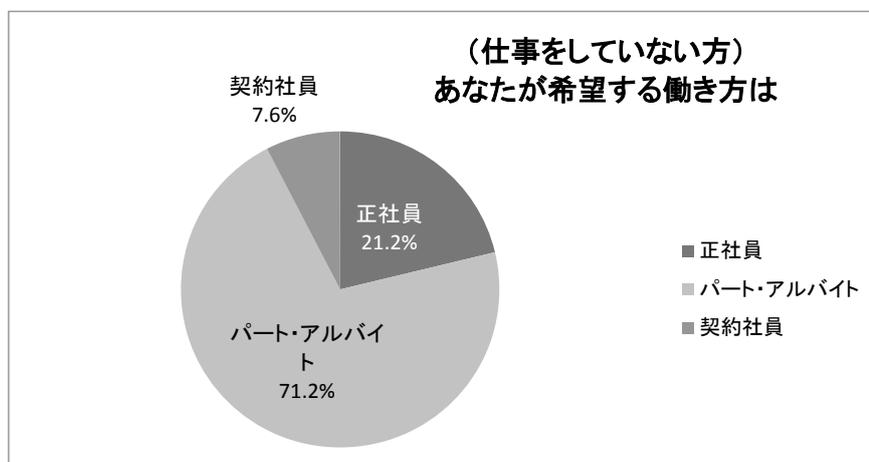
	すぐ働きたい	いずれ働きたい	働くことを考えていない
20代	6	14	
30代	6	28	2
40代	5	15	6
総計	17	57	8



(13)あなたが希望する働き方は？

(人)

	正社員	パート・アルバイト	契約社員
20代	9	10	1
30代	4	23	3
40代	1	14	1
総計	14	47	5



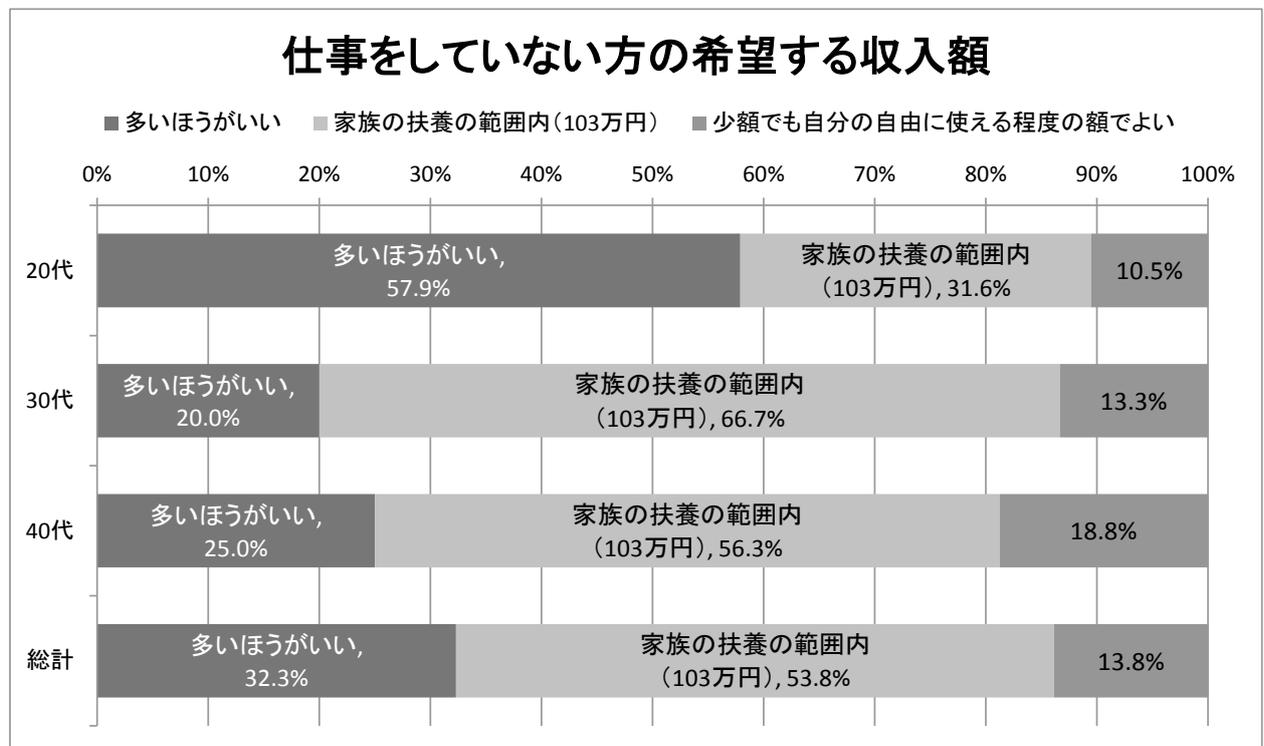
○仕事をしていない方にお聞きします

(14)あなたの希望する収入額は？

(人)

	多いほうがいい	家族の扶養の範囲内(103万円)	少額でも自分の自由に使える程度の額でよい
20代	11	6	2
30代	6	20	4
40代	4	9	3
総計	21	35	9

	多いほうがいい	家族の扶養の範囲内(103万円)	少額でも自分の自由に使える程度の額でよい
20代	57.9%	31.6%	10.5%
30代	20.0%	66.7%	13.3%
40代	25.0%	56.3%	18.8%
総計	32.3%	53.8%	13.8%



現在仕事をしていない人も、いずれ働きたいと思っている人が約7割、すぐ働きたいと思っている方も2割いる。

希望する収入額については、30代40代ともに家族の扶養の範囲内(103万円以内)を望む人が多い。扶養の範囲にこだわり過ぎているのではないかな。

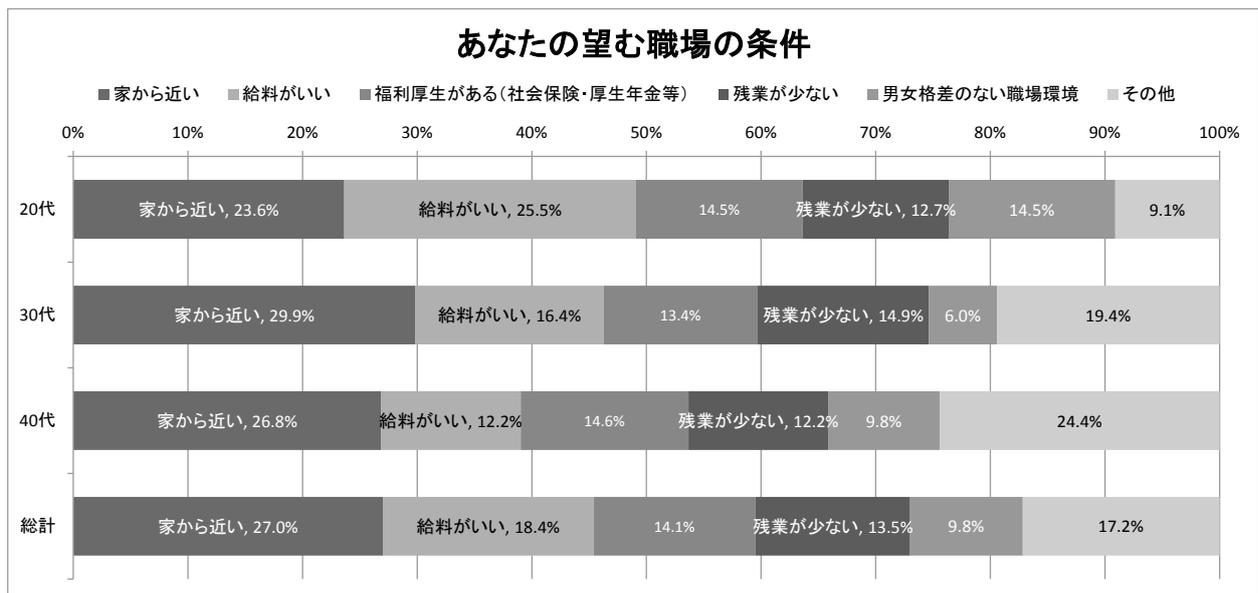
国の社会保障制度や扶養控除の仕組みも関係していると思うが、女性が再就職をしやすいような仕組みやサポート体制を、社会全体で作ることが大事だと思う。

(15)あなたの望む職場の条件は何ですか？（複数回答可）

(人)

	家から近い	給料がいい	福利厚生がある(社会 保険・厚生年金等)	残業が少ない	男女格差のない職場 環境	その他
20代	13	14	8	7	8	5
30代	20	11	9	10	4	13
40代	11	5	6	5	4	10
総計	44	30	23	22	16	28

	家から近い	給料がいい	福利厚生がある(社会 保険・厚生年金等)	残業が少ない	男女格差のない職場 環境	その他
20代	23.6%	25.5%	14.5%	12.7%	14.5%	9.1%
30代	29.9%	16.4%	13.4%	14.9%	6.0%	19.4%
40代	26.8%	12.2%	14.6%	12.2%	9.8%	24.4%
総計	27.0%	18.4%	14.1%	13.5%	9.8%	17.2%



その他

- ・ 子育て支援のある環境
- ・ 希望の時間で働ける
- ・ 子供が小さいのでもしもの時に休みやすい
- ・ 勤務時間の調整がしやすい(休日など)

職場の条件として、家から近いということはどの年代も重要な条件となっている。20代では給料がいいこと、男女格差がないことは重要視している。

30代 40代では男女格差に対してあまり重要視していない。家が近いこと、残業が少ないことが多いということは、家庭や子供が優先されるためだと思われる。

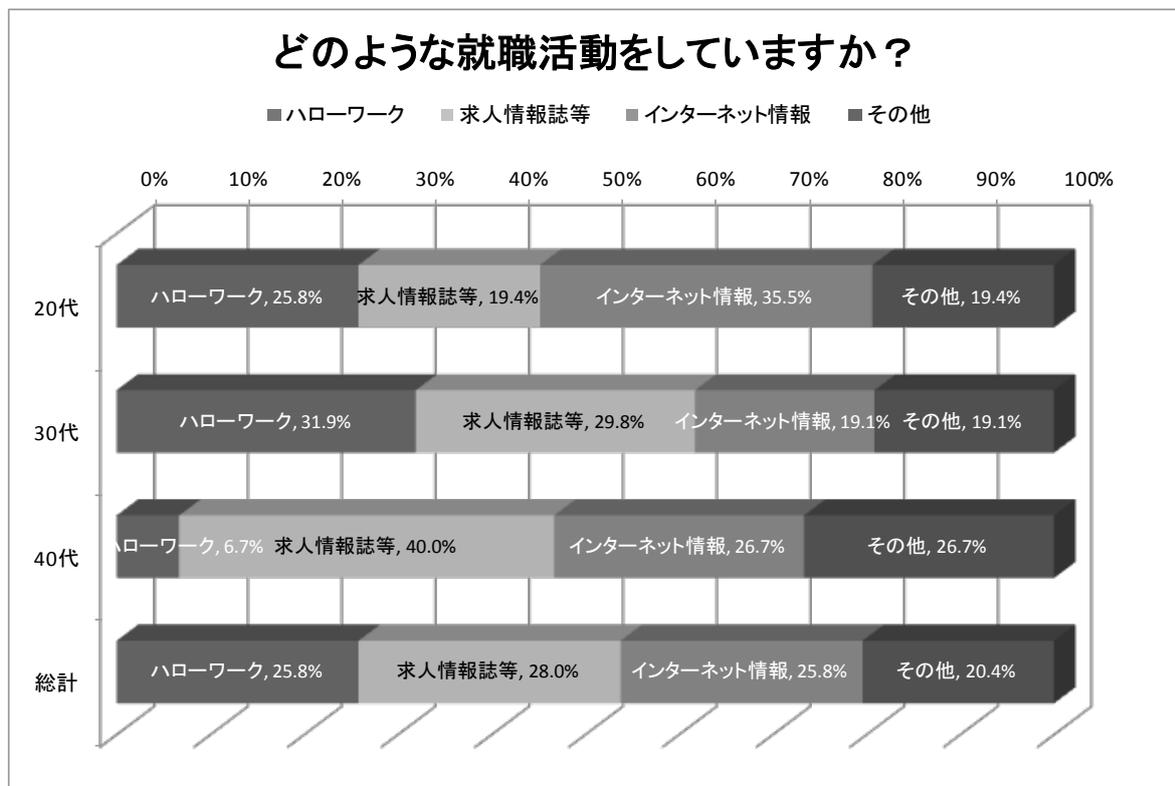
勤務時間の調整や、急な用事等で休みやすい体制の職場がどれだけあるのかわからないが、この点を会社側が支援できれば女性に優しい職場になるのではないかと。

(16)どのような就職活動をしていますか？（複数回答可）

(人)

	ハローワーク	求人情報誌等	インターネット情報	その他
20代	8	6	11	6
30代	15	14	9	9
40代	1	6	4	4
総計	24	26	24	19

	ハローワーク	求人情報誌等	インターネット情報	その他
20代	25.8%	19.4%	35.5%	19.4%
30代	31.9%	29.8%	19.1%	19.1%
40代	6.7%	40.0%	26.7%	26.7%
総計	25.8%	28.0%	25.8%	20.4%



(17)どんな条件が整ったら働くことが可能ですか？

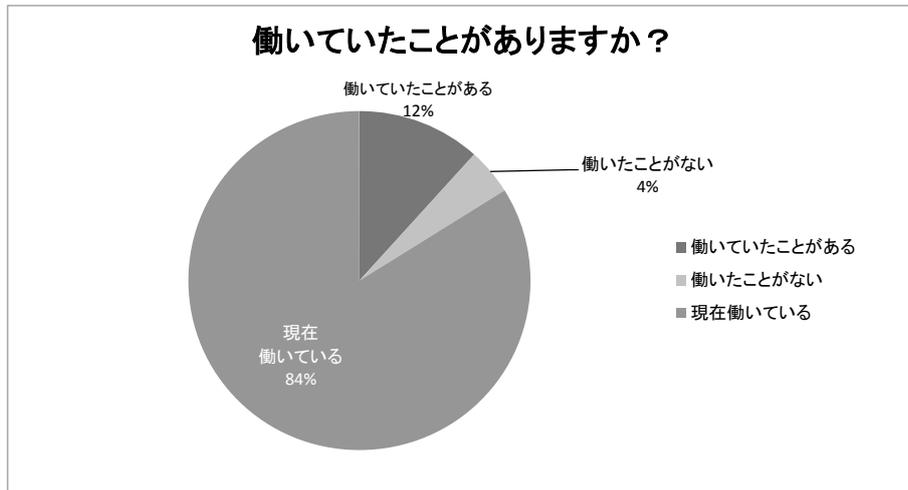
- ・ 子供が保育園(小学校)に通い始めたら
- ・ 子供の行事に合わせて休みが取れる条件の職場が見つかったら
- ・ 勤務時間に融通が利く
- ・ 子供の病気時の保育サポート
- ・ 自分の希望時間、時給、職種の仕事が見つかったら

20代 30代ではハローワークが多く、失業手当等も関係して再就職先を探しているのかもしれない。インターネットによる求人情報の入手が増えているが、40代は求人情報誌が40%もいる。勤務時間の融通や子供の病気時の保育サポートなど、自分の希望する条件に合う職場がなかなか見つからないのかもしれない。

(18)あなたは以前働いていた経験がありますか？

(人)

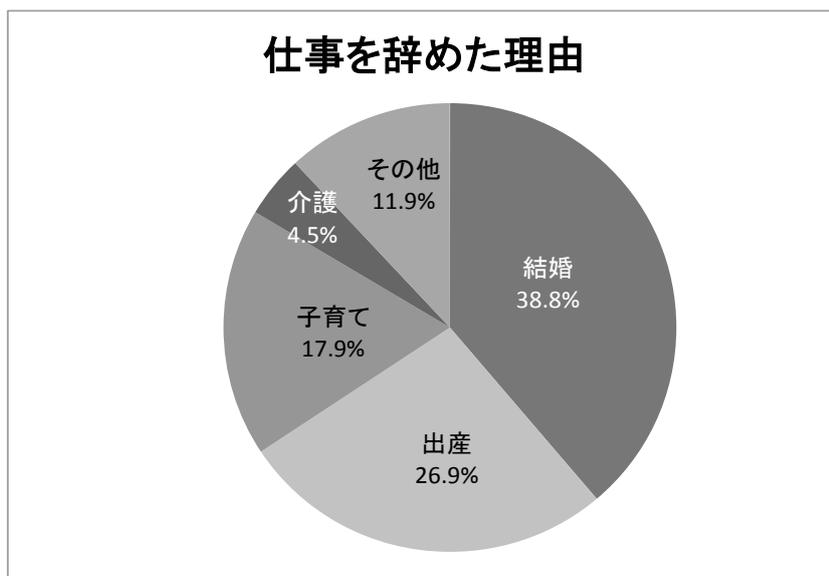
	働いていたことがある	働いたことがない	現在働いている
20代	9	7	
30代	18	4	
40代	10	3	
総計	37	14	266



(19)仕事を辞めた理由は何ですか？（複数回答可）

(人)

	結婚	出産	子育て	介護	その他
20代	4	5	5		2
30代	16	8	3	2	3
40代	6	5	4	1	3
総計	26	18	12	3	8



その他

- ・希望時間が合わない
- ・小さい子供がいるため
- ・近くに働ける場所がない
- ・こどもの保育をしてくれる施設が決まっていないため
- ・夫の転勤
- ・子供のための時間を確保すると、働ける時間は限られてしまうため

仕事を辞めた理由が結婚・出産・子育てでほとんどを占めている。女性も高学歴になり社会も女性の進出を認めつつあると思えたが、現実はこのような結果なのはなぜか。物理的な理由（住所変更等）なのか心理的な理由（夫の要求）なのか。

小さい子供がいても働ける体制づくり（保育施設の充実、会社側が子育て中の女性を積極的に採用、家族のサポート、3世代同居等の推進）が必要ではないか。

(20)あなたが就業するためにどのようなサポートが必要ですか？

- ・心のケア
- ・子供がいても働きやすいようなサポート（民間の一時保育）
- ・子育てに理解のある職場環境
- ・自宅に求人に関するものを送ってほしい
- ・一時保育だと一日当たりの金額が高いため、週2～3回の定期的な保育金額を設定してほしい

(21)あなたが今働いていない理由はなんですか？

- ・まだ入園前の子どもがいるため
- ・学生だから
- ・仕事と家庭と子育てを一人でこなす自信がないため
- ・希望時間に合わない
- ・希望する保育園に入れたい
- ・病気のため

働いていない理由は、子育てに関するものが多い。
保育施設の充実や子育てサポートの金額の見直しなど、行政で対応できる点が多くあると思うので、ニーズに合った施策を推進してほしい。

核家族化が進み、子供を一時的に見てくれる親族が近くにいる場合はいいが、誰にも頼めず母親が一人で子育てをしている場合は、保育園に入れなければ仕事することは不可能。

また求人情報の提供や職場環境の整備など、女性に対する就労支援が必要。女性の管理職を増やし、若い女性職員の心のケアや子育ての悩み等の共有化を図れるとよい。

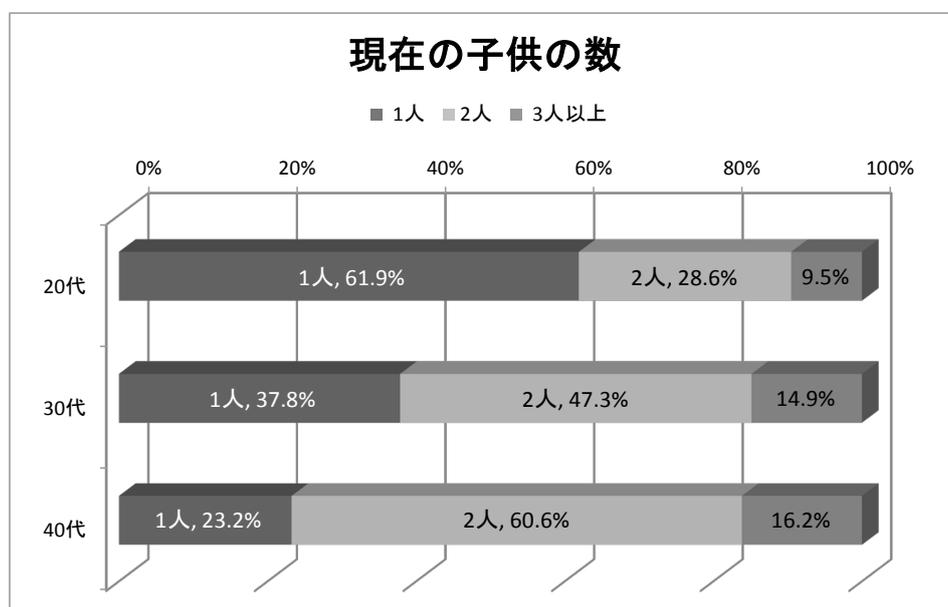
○子供がいる方にお聞きします

(22)現在のあなたの子どもの数は何人ですか？

(人)

	1人	2人	3人以上
20代	13	6	2
30代	28	35	11
40代	23	60	16
総計	64	101	29

	1人	2人	3人以上
20代	61.9%	28.6%	9.5%
30代	37.8%	47.3%	14.9%
40代	23.2%	60.6%	16.2%
総計	33.0%	52.1%	14.9%

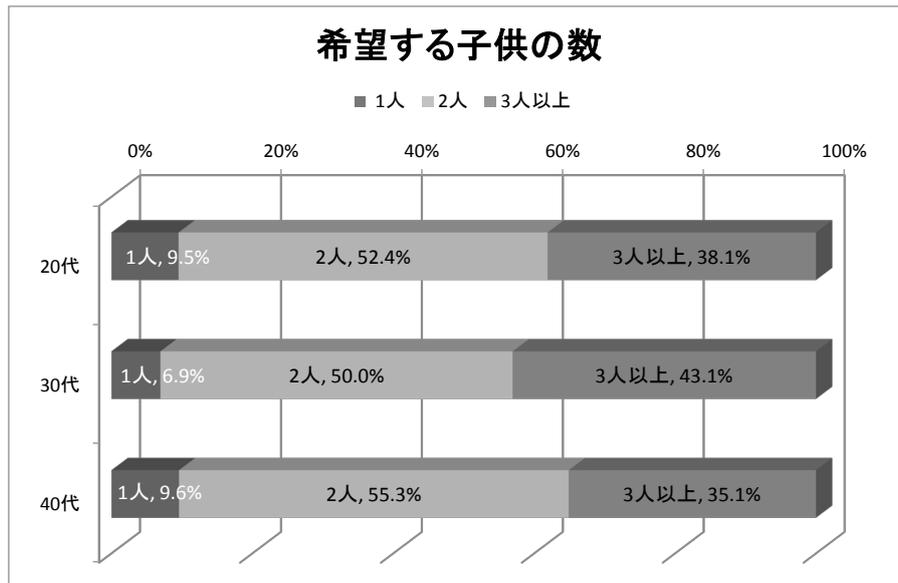


(23)あなたの希望する子どもの数は何人ですか？

(人)

	1人	2人	3人以上
20代	2	11	8
30代	5	36	31
40代	9	52	33
総計	16	99	72

	1人	2人	3人以上
20代	9.5%	52.4%	38.1%
30代	6.9%	50.0%	43.1%
40代	9.6%	55.3%	35.1%
総計	8.6%	52.9%	38.5%



(24)希望する人数の子どもを持たない理由

- ・ 金銭的に
- ・ 年齢的に
- ・ 身体的な理由
- ・ 会社を休めない
- ・ まだ下の子どもが小さく手がかかる

現在子どもが1人の人は2人目を、2人の人は3人以上を望む人が多い。経済的な理由で持てない人もいるが、子供を産み育てたいと思っていることは確かなので、希望が叶うようなサポート体制を社会全体で作ってあげればよいと思う。

(25)あなたが感じる子育ての苦労や大変な点は？

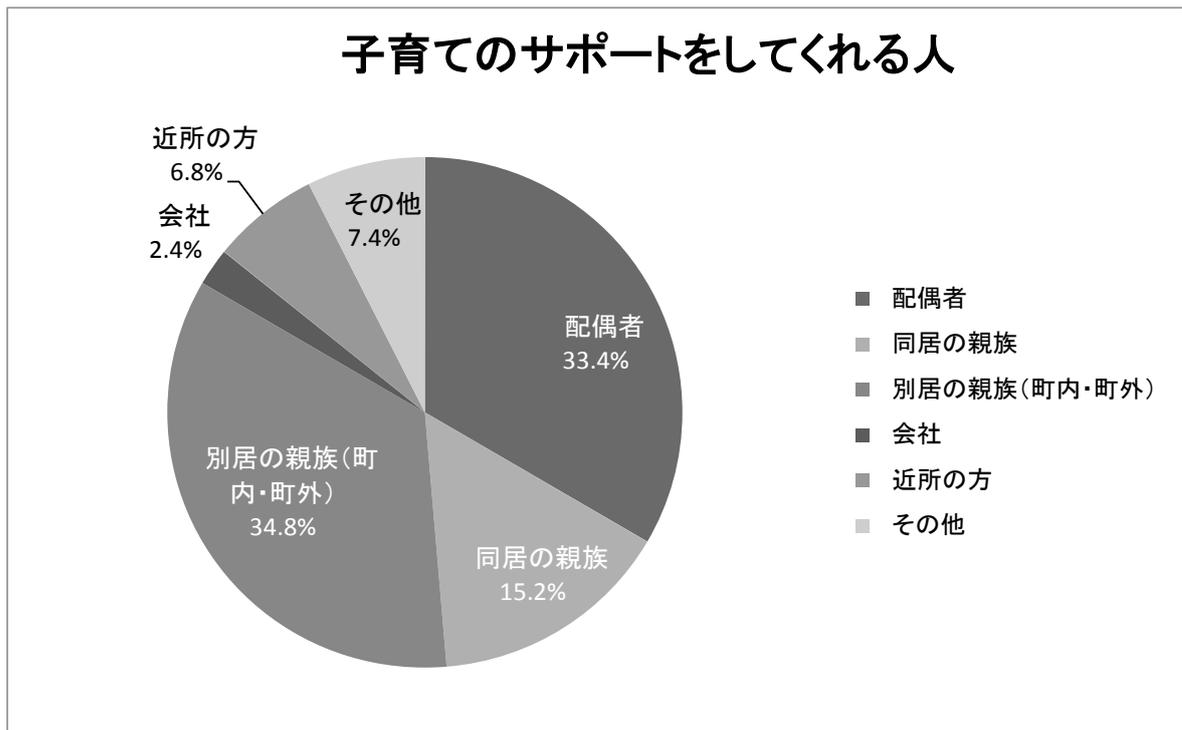
- ・ 仕事と子育ての両立
- ・ 自分の時間が持てない
- ・ 食費や教育費など乳幼児時代にはかからなかったお金が必要となってくる
- ・ 子どもも意思が出てくるため、お互いの観点から意見がぶつかることが出てきた
- ・ 仕事をしているため、子供の急な発熱等が大変

(26)今のあなたの子育てに必要な不可欠なものは何ですか？

- ・ 時間
- ・ お金
- ・ 体力
- ・ パートナー、家族、実家などの協力
- ・ 友人、周りの方からの励まし
- ・ 児童クラブ、子育て支援センター等のサポート

(27)あなたの子育てのサポートをしてくれる方は誰ですか？（複数回答可） (人)

	配偶者	同居の親族	別居の親族 (町内・町外)	会社	近所の方	その他
20代	11	4	13		1	1
30代	40	17	42	4	5	10
40代	48	24	48	3	14	11
総計	99	45	103	7	20	22



その他

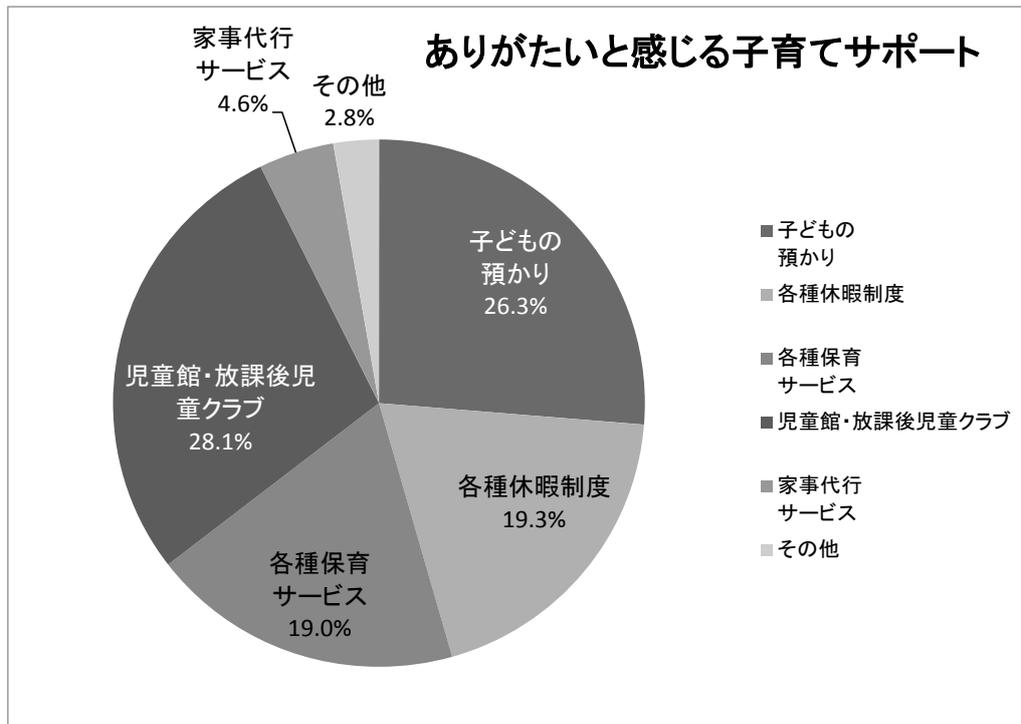
- ・ 児童クラブ、保育園
- ・ 友達
- ・ 行政の子育て支援やボランティアのファミリーサポート
- ・ 読み聞かせサークル

配偶者より別居の親族のほうがサポートしてくれるという実態が分かった。自身の親を頼るケースが多いからだと思う。核家族化により同居よりも別居の方が多いのはわかるが、もっと配偶者の占める率が上昇することが望ましい。

また近所の方や会社など、社会的サポート体制や地域のネットワークづくりが必要。

(28)あなたがありがたいと感じる子育てのサポートは何ですか？（複数回答可） (人)

	子どもの預かり	各種休暇制度	各種保育サービス	児童館・放課後児童クラブ	家事代行サービス	その他
20代	10	8	11	5		
30代	38	29	33	41	6	3
40代	38	26	18	46	9	6
総計	86	63	62	92	15	9



その他

- ・ マル福、児童手当
- ・ コープ（生協）などの宅配サービス

(29)あなたが必要な子育てサポートは何ですか？

- ・ 病児保育
- ・ 児童クラブ
- ・ 予防接種（任意）の費用補助
- ・ 給食費 3 人目以降完全無料化
（私立中学や県立中学入学者も該当にしてほしい）
- ・ 学校の勉強を補助的に教えてくれる環境

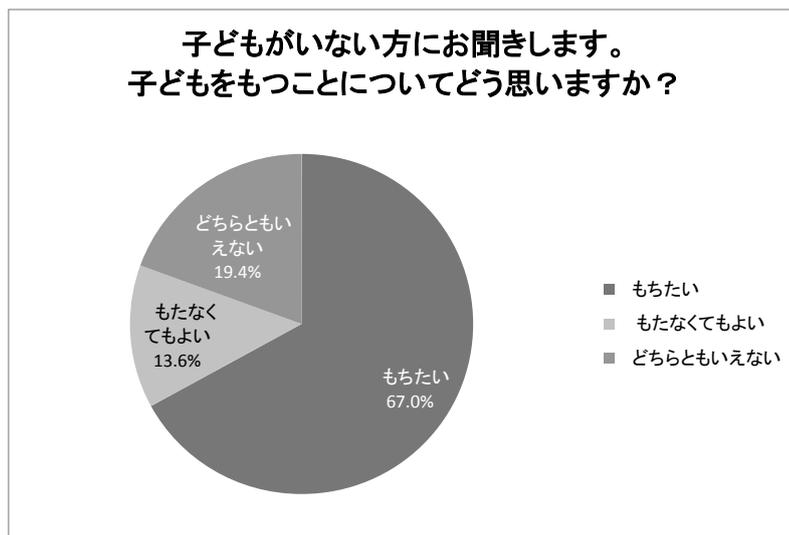
この要望にすべて応えられれば、子育てしやすいまちづくりができたと言えるのではないか。病児保育や待機児童の解消、児童クラブ等の充実等、いつも必要とされる子育てサポートは同じなのに充足しないのはなぜなのか。

○子どもがいない方にお聞きします

(30)あなたは子供をもつことについてどう思いますか？

(人)

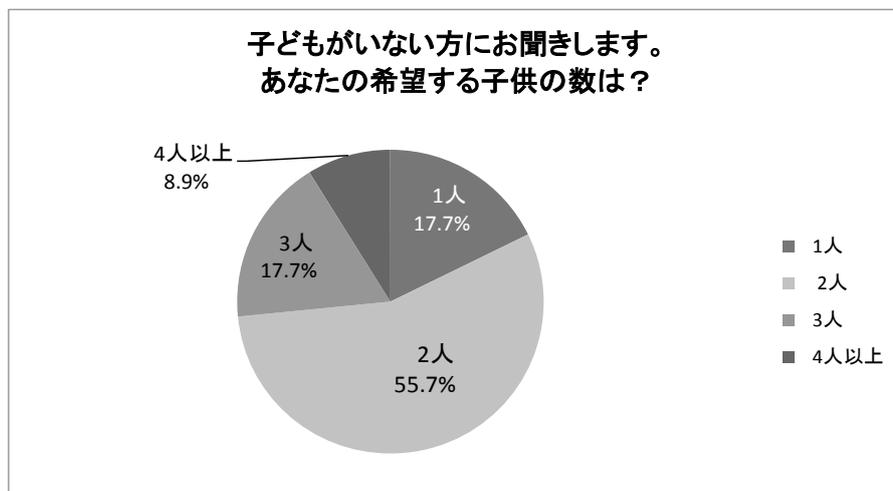
	もちたい	もたなくてもよい	どちらともいえない
20代	40	4	6
30代	24	3	5
40代	5	7	9
総計	69	14	20



(31)あなたの希望する子どもの数は？

(人)

	1人	2人	3人	4人以上
20代	8	24	7	4
30代	3	18	4	1
40代	3	2	3	2
総計	14	44	14	7

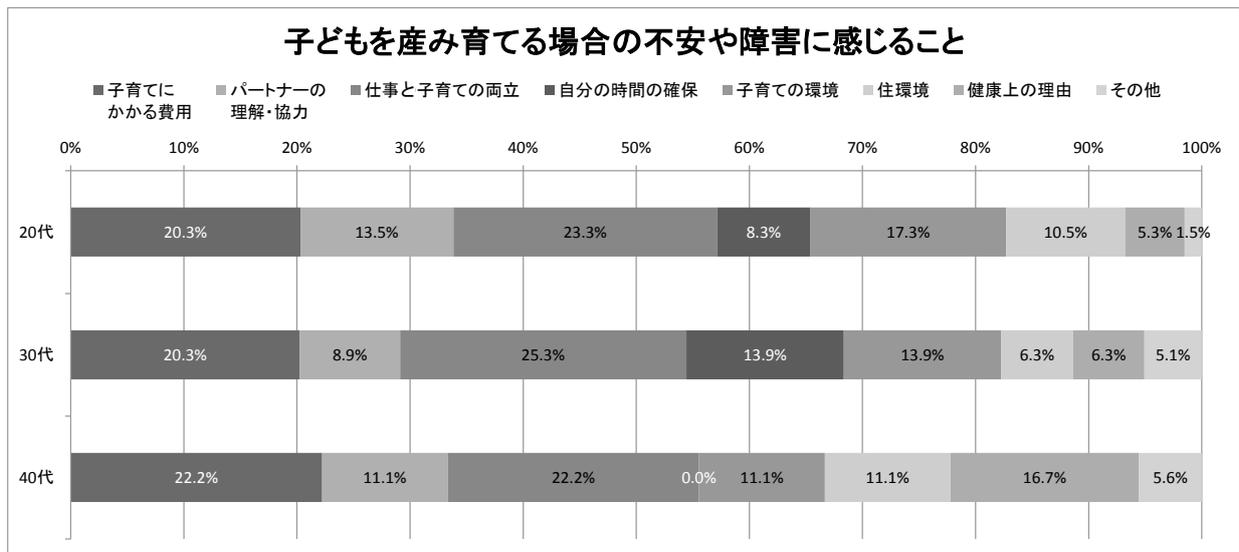


(32)あなたが今後子供を産み育てる場合、不安や障害となるものはありますか？

(複数回答可) (人)

	子育てにかかる費用	パートナーの理解・協力	仕事と子育ての両立	自分の時間の確保	子育ての環境	住環境	健康上の理由	その他
20代	27	18	31	11	23	14	7	2
30代	16	7	20	11	11	5	5	4
40代	4	2	4		2	2	3	1
総計	47	27	55	22	36	21	15	7

	子育てにかかる費用	パートナーの理解・協力	仕事と子育ての両立	自分の時間の確保	子育ての環境	住環境	健康上の理由	その他
20代	20.3%	13.5%	23.3%	8.3%	17.3%	10.5%	5.3%	1.5%
30代	20.3%	8.9%	25.3%	13.9%	13.9%	6.3%	6.3%	5.1%
40代	22.2%	11.1%	22.2%	0.0%	11.1%	11.1%	16.7%	5.6%
総計	20.4%	11.7%	23.9%	9.6%	15.7%	9.1%	6.5%	3.0%



その他

- ・ 地域のサポート
- ・ 保育所
- ・ 入園、入学の定員
- ・ パートナーがいない
- ・ 子ども会、PTA 等の役員

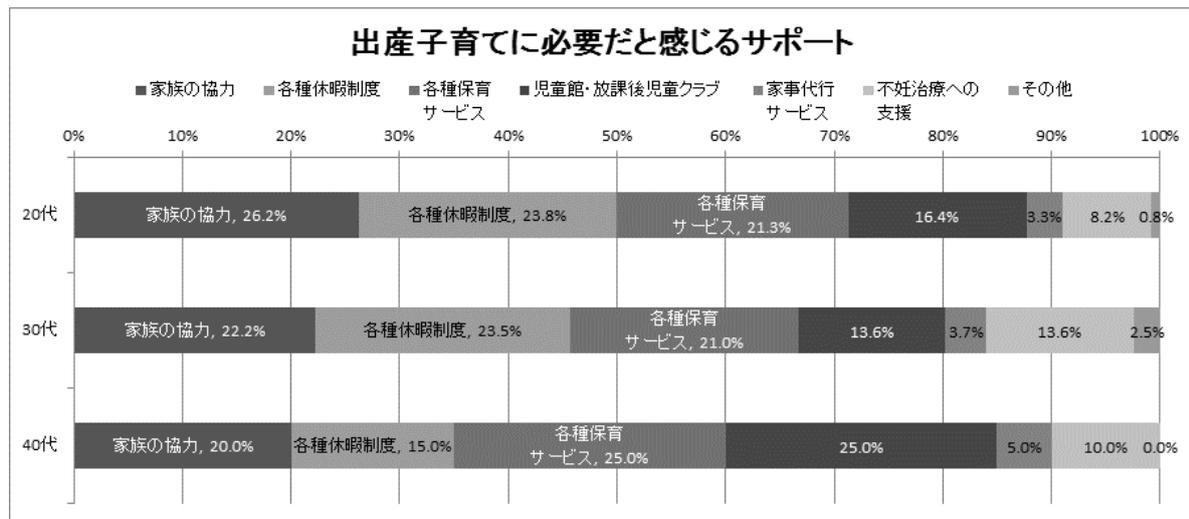
仕事と子育ての両立を不安に感じている人が多い。子供を産んでも仕事をしたいという要望が強いと思われる。子育てに係る費用も多く、金銭的不安については、社会全体で軽減できる施策を推進するべきだと思う。

子供がいない方も、子供を2人以上ほしいと考えているのだから、阿見町としても積極的に若い世代を町内居住させ、子育てしやすい環境を整える必要がある。

(33)あなたが出産・子育てに必要なと感じるサポートはなんですか？（複数回答可）（人）

	家族の協力	各種休暇制度	各種保育サービス	児童館・放課後児童クラブ	家事代行サービス	不妊治療への支援	その他
20代	32	29	26	20	4	10	1
30代	18	19	17	11	3	11	2
40代	4	3	5	5	1	2	
総計	54	51	48	36	8	23	3

	家族の協力	各種休暇制度	各種保育サービス	児童館・放課後児童クラブ	家事代行サービス	不妊治療への支援	その他
20代	26.2%	23.8%	21.3%	16.4%	3.3%	8.2%	0.8%
30代	22.2%	23.5%	21.0%	13.6%	3.7%	13.6%	2.5%
40代	20.0%	15.0%	25.0%	25.0%	5.0%	10.0%	0.0%
総計	24.2%	22.9%	21.5%	16.1%	3.6%	10.3%	1.3%



その他：防犯体制

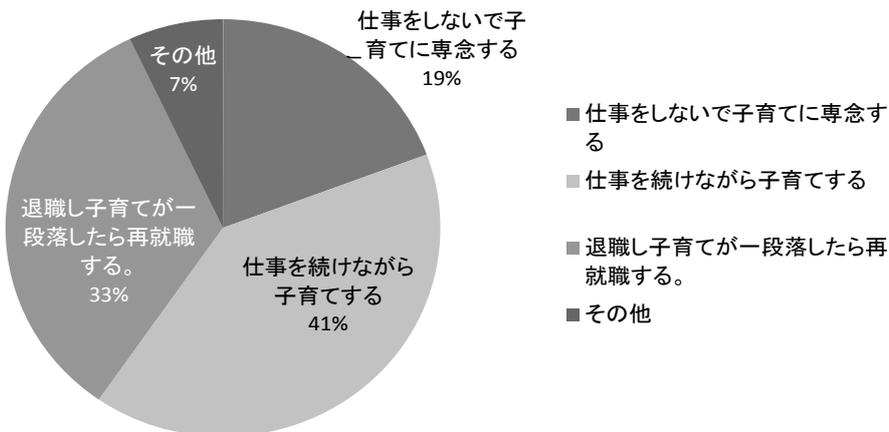
家族の協力が最も多いということは、まだまだ足りないということだ。
 また不妊治療への支援が30代40代で10%以上いるので、この部分をもう少し手厚く助成できるといいのではないか。
 このアンケートで、若い人たちが増える施策には何が必要かを教えてもらった気がする。会社も各種休暇制度を充実させ、女性の活躍できる職場環境を整えてもらいたいと思う。

(34)あなたが子育てをする場合、希望する考えを教えてください。

(人)

	仕事をしないで子育てに専念する	仕事を続けながら子育てする	退職し子育てが一段落したら再就職する。	その他
無	3	4	4	
有	11	23	19	4
総計	14	27	23	4

子どもがいない方で現在仕事をしている方が
今後子育てをする場合、希望する考えは？



「仕事を続けながら子育てしたい」と、「子育てが一段落したら再就職したい」と考える女性が7割以上いる。企業誘致、就労支援、住宅支援などさらに推進し、他市町村からの転入者も増えるように、町として女性の社会進出をバックアップできればいいと思う。

(35)問 30 で子どもをもつことについて「2」「3」を選んだ方

- ・ 子供が好きでないから
- ・ 健康上の理由
- ・ 好きな仕事がしたいし、頑張ってきたことを辞めるのは嫌だから
- ・ 家計のため
- ・ 子供を育てられる自信がない

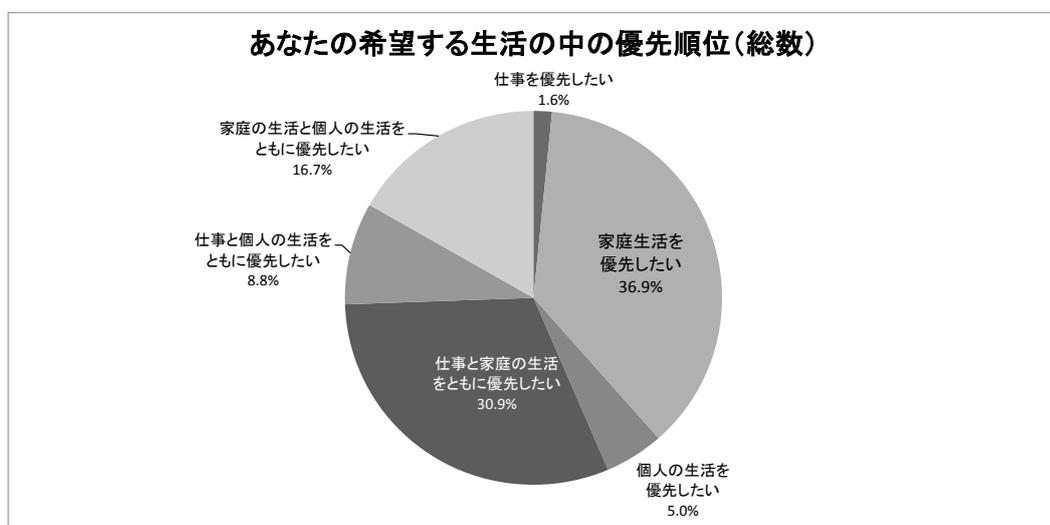
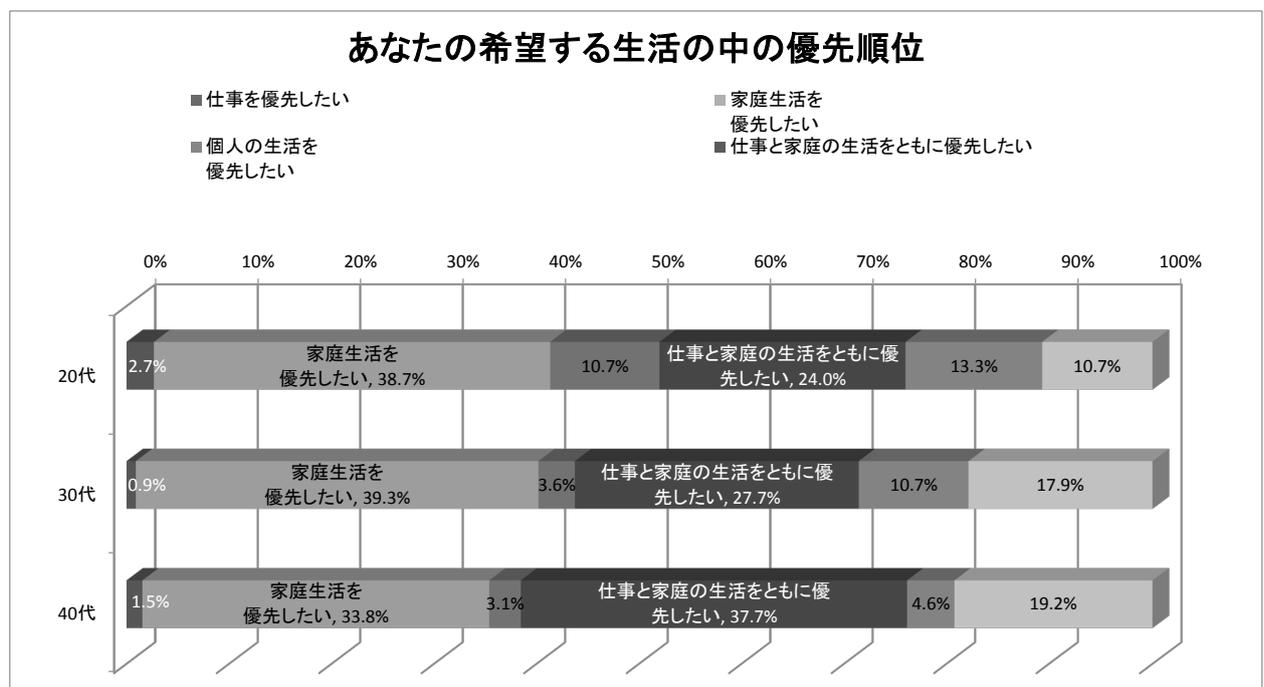
○全員にお聞きします

(36)あなたの希望する生活の中の優先順位をお伺いします

(人)

	仕事を優先したい	家庭生活を優先したい	個人の生活を優先したい	仕事と家庭の生活をともに優先したい	仕事と個人の生活をともに優先したい	家庭の生活と個人の生活をともに優先したい
20代	2	29	8	18	10	8
30代	1	44	4	31	12	20
40代	2	44	4	49	6	25
総計	5	117	16	98	28	53

	仕事を優先したい	家庭生活を優先したい	個人の生活を優先したい	仕事と家庭の生活をともに優先したい	仕事と個人の生活をともに優先したい	家庭の生活と個人の生活をともに優先したい
20代	2.7%	38.7%	10.7%	24.0%	13.3%	10.7%
30代	0.9%	39.3%	3.6%	27.7%	10.7%	17.9%
40代	1.5%	33.8%	3.1%	37.7%	4.6%	19.2%
総計	1.6%	36.9%	5.0%	30.9%	8.8%	16.7%

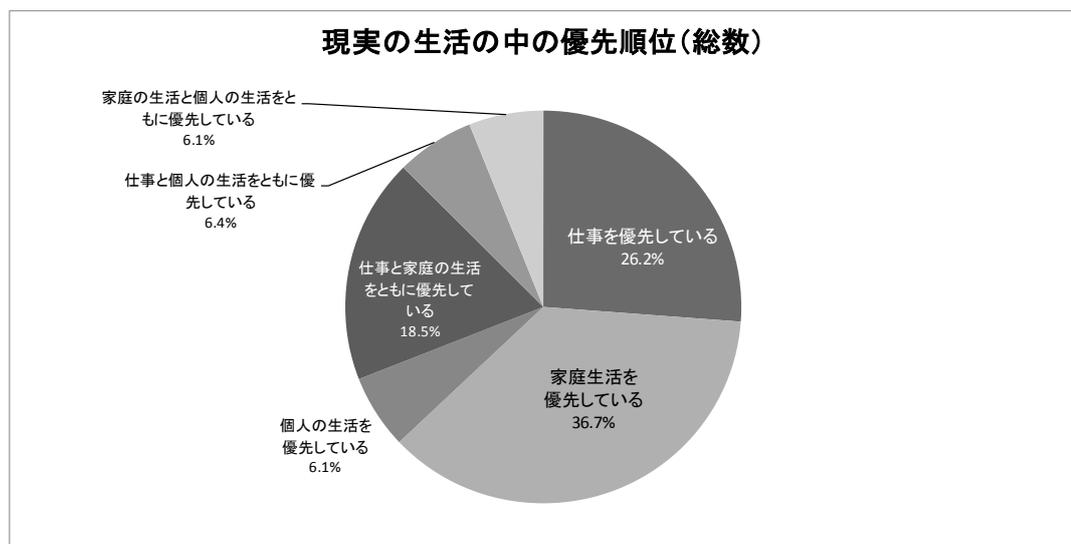
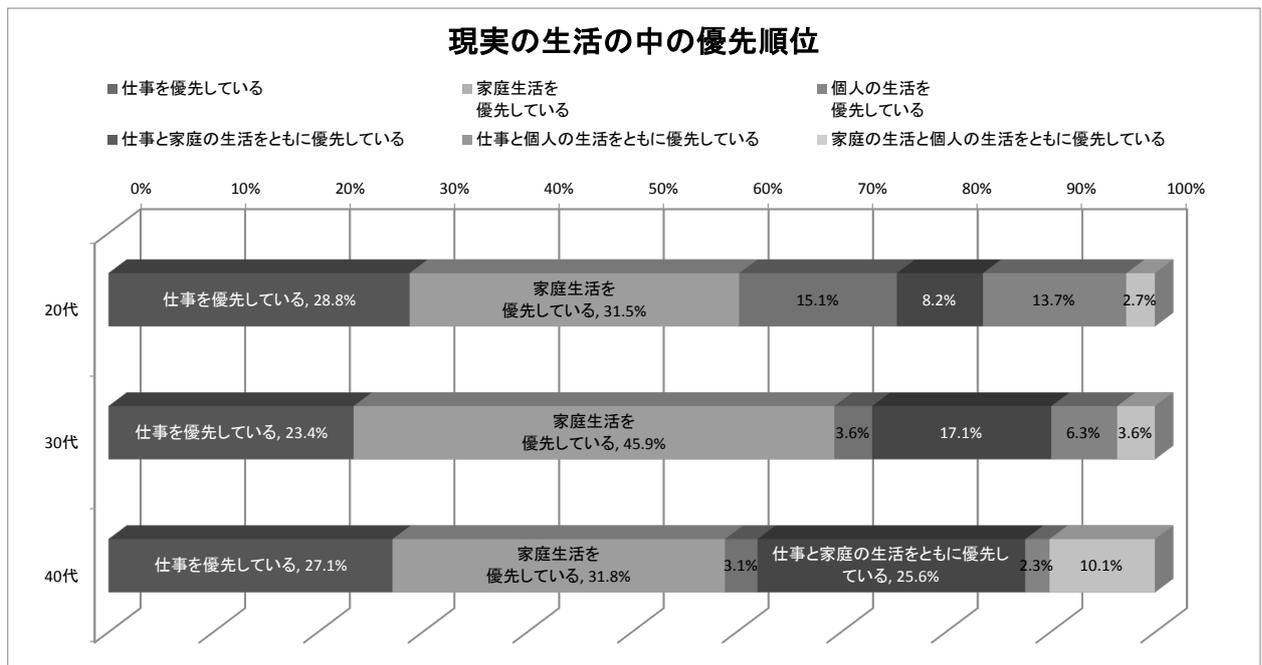


(37)現実にあなたの優先している現状をお伺いします

(人)

	仕事を優先している	家庭生活を優先している	個人の生活を優先している	仕事と家庭の生活をともに優先している	仕事と個人の生活をともに優先している	家庭の生活と個人の生活をともに優先している
20代	21	23	11	6	10	2
30代	26	51	4	19	7	4
40代	35	41	4	33	3	13
総計	82	115	19	58	20	19

	仕事を優先している	家庭生活を優先している	個人の生活を優先している	仕事と家庭の生活をともに優先している	仕事と個人の生活をともに優先している	家庭の生活と個人の生活をともに優先している
20代	28.8%	31.5%	15.1%	8.2%	13.7%	2.7%
30代	23.4%	45.9%	3.6%	17.1%	6.3%	3.6%
40代	27.1%	31.8%	3.1%	25.6%	2.3%	10.1%
総計	26.2%	36.7%	6.1%	18.5%	6.4%	6.1%



(38)問 36 と問 37 で希望と現実には差がある場合の要因は何ですか？

- ・ 経済的な理由
- ・ 小さい子供がいるので、仕事がまだできない
- ・ 休みの取りづらさ、帰りづらさ
- ・ 結婚していないから
- ・ 仕事量が多いため勤務時間が長い
- ・ 親と暮らさざるを得ないこと

(39)あなたが望む生き方の障害になっていることは？

- ・ 親
- ・ 女性は出産可能年齢というタイムリミットがあり、男性のように思いきり働くことができない
- ・ 仕事を休んだ時に代わってくれる人がいない
- ・ 低収入
- ・ 配偶者の無理解
- ・ 出費(家のローン、教育費、税金、年金)

(40)仕事と子育てに関するご意見・ご希望・ご提案について

- ・ 仕事より子育てを優先できるようにしてほしい
- ・ 町で子どもの検診を多く行ってほしい
- ・ パート収入の扶養範囲を上げてほしい
- ・ このアンケートの結果を発表して、回答がほしい
- ・ 保育所の申請が難しくて入れない
- ・ 病院に通院する際、小さな子を連れていくのがとても難しいので病院に行くのが大変
- ・ お母さん方の健康サポートについて考慮してほしい
- ・ 仕事と子育ての両立は大変なことも多々あるが、それでも家計に余裕を持ちたい
- ・ 子供のために貯蓄したいと頑張っている女性のための政策を立ち上げてほしい
- ・ どんどん良い意見を取り入れていただきたい
- ・ それが働く女性の後押しや励みになると信じています

女性たちは理想と現実の間で、家庭生活や仕事や子育てに一生懸命奮闘している姿が見えてくる。家庭生活を優先したいが、家計を支えるために仕事を優先せざるを得ないという状況が多いのではないかな。

アンケートに真剣に答えてくださった方たちの声を受け止め、町はそれに応えていく必要があると思います。子育てサポートの充実の要望が多いのも、女性をもっと社会進出したいと思っていることの表れなのかもしれない。

出産もしたい、子育てもしたい、仕事もしたいという女性の願いを叶えられるような施策を、男女共同参画の視点で推進・協力していきたいと思った。

参考資料

参考資料 1. アンケート内容

～女性の社会進出に関するアンケート～

※直接ご記入のうえ、返送してください

○あなたご自身についてお聞きします

A あなたのお歳は？	1. 20代 2. 30代 3. 40代
B 配偶者等の有無	1. 配偶者（パートナー）あり 2. 配偶者（パートナー）なし
C 家族構成 当てはまる番号すべてに○	1. 配偶者（パートナー） 2. 実父母 3. 義父母 4. 兄弟姉妹 5. 祖父母 6. 子ども 7. 孫 8. ひとり暮らし 9. その他

○仕事をしている方にお聞きします

（正社員・自営業・契約社員・パート・アルバイト・産休中・育休中の方）

（1）1日の平均勤務時間 と週の勤務日数について	1日 _____ 時間勤務 1週間 _____ 日勤務
（2）通勤時間	_____ 時間 _____ 分
（3）通勤方法	1. 車 2. 電車 3. 自転車 4. 徒歩 5. 送迎等
（4）平均的な帰宅時間	_____ 時 _____ 分頃 （例：午後5時は17時と記入）
（5）あなたの現在の勤務 時間は？	_____ 時 _____ 分 ～ _____ 時 _____ 分
（6）あなたが働いている 理由は？（複数回答可）	1. 家計のため 2. 自己実現のため 3. 能力を高めるため 4. 社会と関わりたいため 5. その他（ _____ ）
（7）あなたの現在の雇用 形態は？	1. 正社員 2. 自営業 3. パート・アルバイト 4. その他（ _____ ）
（8）あなたの希望する雇 用形態は？	1. 正社員 2. 自営業 3. パート・アルバイト 4. その他（ _____ ）

(9) 仕事をしていてよかったと思うことは？ (複数回答可)	1. 家計のゆとり 2. 自分の時間が持てる 3. 自分の成長・やりがい・スキルアップ 4. 自分の存在価値を感じることができる 5. 社会との関わりがある 6. 生活にメリハリが持てる 7. その他 ()
(10) 仕事を辞めたいと思ったことはありますか？	1. ある 2. ない 理由 ()
(11) 女性が仕事をするために必要だと思うサポートは何ですか？	自由記述

○仕事をしていない方にお聞きします

(12) あなたは、今後働くことを考えていますか？	1. すぐ働きたい 2. いずれ働きたい 3. 働くことを考えていない → 問21へ
(13) あなたが希望する働き方は？	1. 正社員 2. パート・アルバイト 3. 契約社員
(14) あなたの希望する収入額は？	1. 多いほうがいい 2. 家族の扶養の範囲内 (103万円) 3. 少額でも自分の自由に使える程度の額でよい
(15) あなたの望む職場の条件は何ですか？ (複数回答可)	1. 家から近い 2. 給料がいい 3. 福利厚生がある (社会保険・厚生年金等) 4. 残業が少ない 5. 男女格差のない職場環境 6. その他 ()
(16) どのような就職活動をしていますか？ (複数回答可)	1. ハローワーク 2. 求人情報誌等 3. インターネット情報 4. その他 ()
(17) どんな条件が整ったら働くことが可能ですか？	自由記述 ()
(18) あなたは以前働いた経験がありますか？	1. 働いていたことがある 2. 働いたことがない → 問20へ

(19) 仕事を辞めた理由は何ですか？（複数回答可）	1. 結婚 2. 出産 3. 子育て 4. 介護 5. その他（ ）
(20) あなたが就業するためにどのようなサポートが必要ですか？	自由記述
(21) あなたが今働いていない理由はなんですか？	自由記述

○子どもがいる方にお聞きします

(22) 現在のあなたの子どもの数は何人ですか？	1. 1人 2. 2人 3. 3人以上 → 何人ですか（ ）
(23) あなたの希望する子どもの数は何人ですか？	1. 1人 2. 2人 3. 3人以上 → 何人ほしいですか（ ）
(24) 問 22 と 23 で差がある方のみお答えください。	希望する人数の子どもを持ってない理由があれば記入ください。 自由記述
(25) あなたが感じる子育ての苦労や大変な点は？	自由記述
(26) 今のあなたの子育てに必要な不可欠なものは何ですか？	自由記述
(27) あなたの子育てのサポートをしてくれる方は誰ですか？（複数回答可）	1. 配偶者 2. 同居の親族 3. 別居の親族（町内・町外） 4. 会社 5. 近所の方 6. その他（ ）
(28) あなたがありがたいと感じる子育てのサポートは何ですか？（複数回答可）	1. 子どもの預かり 2. 各種休暇制度 3. 各種保育サービス 4. 児童館・放課後児童クラブ

	5. 家事代行サービス 6. その他 ()
(29) あなたが必要な子育てサポートは何ですか? 次は設問 36 へ→	自由記述

○子どもがいない方にお聞きします

(30) あなたは子どもをもつことについてどう思いますか?	1. もちたい 2. もたなくてもよい → 問 35 へ 3. どちらともいえない → 問 35 へ
(31) あなたの希望する子供の数は何人ですか?	_____ 人
(32) あなたが今後子どもを産み育てる場合、不安や障害となるものはありますか? (複数回答可)	1. 子育てにかかる費用 2. パートナーの理解・協力 3. 仕事の子育ての両立 4. 自分の時間の確保 5. 子育ての環境 6. 住環境 7. 健康上の理由 8. その他 ()
(33) あなたが出産・子育てに必要なと感じるサポートは何ですか? (複数回答可)	1. 家族の協力 2. 各種休暇制度 3. 各種保育サービス 4. 児童館・放課後児童クラブ 5. 家事代行サービス 6. 不妊治療への支援 7. その他 ()
(34) あなたが子育てをする場合、希望する考えを教えてください。 次は設問 36 へ→	1. 仕事をしないで子育てに専念する 2. 仕事を続けながら子育てする 3. 退職し子育てが一段落したら再就職する 4. その他 ()
(35) そう思う理由はなんですか? (問 30 で 2. 3 と答えた方)	自由記述

○全員にお聞きします

<p>(36) あなたの希望する生活の中の優先順位をお伺いします。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 仕事を優先したい 2. 家庭生活を優先したい 3. 個人の生活を優先したい 4. 仕事と家庭の生活をともに優先したい 5. 仕事と個人の生活をともに優先したい 6. 家庭の生活と個人の生活をともに優先したい
<p>(37) 現実にあなたの優先している現状をお伺いします。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 仕事を優先している 2. 家庭生活を優先している 3. 個人の生活を優先している 4. 仕事と家庭の生活をともに優先している 5. 仕事と個人の生活をともに優先している 6. 家庭の生活と個人の生活をともに優先している
<p>(38) 問 36・37 の回答で違いがある方のみお答えください？</p>	<p>希望と現実には差がある場合の要因は何ですか？</p>
<p>(39) あなたの望む生き方の障害になっていることがあればご記入ください。</p>	<p>自由記述</p>
<p>(40) 仕事と子育てに関するご意見・ご希望・ご提案があればご記入ください。</p>	<p>自由記述</p>

アンケートにご協力いただきまして、ありがとうございました。
切手は貼らずに返信用封筒に入れ、6月30日までにポストにご投函ください。

参考資料2. アンケート集計協力者

阿見町男女共同参画社会推進会議検討部会

No	氏名	備考
1	遠藤 壽子	部会長
2	大崎 信子	副部会長
3	玄葉 洋子	
4	小松澤 和恵	
5	小松原香雅里	
6	櫻井 保子	
7	菅原 順子	
8	諏訪部恵理子	
9	田崎 保子	
10	福田 正	
11	横田 信子	

(任期：平成26年6月30日～平成28年3月31日)

女性の社会進出に関するアンケート結果

平成 27 年 10 月 第 1 刷発行

発行：阿見町 町民部 町民活動推進課 男女共同参画推進室

〒300-0392 茨城県稲敷郡阿見町中央 1-1-1

電話 029-888-1111(代)